



科学技術政策特論

「科学技術政策特論」講義案内

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします



平成26年

5月30日 金

5 講目

16:30-18:00



工学研究院
オープンホール
[B-201]

第9回

環境政策を支える科学技術

環境省 地球環境局総務課 低炭素社会推進室長

土居 健太郎

土居先生からのメッセージ

地球温暖化、廃棄物処理等、私たちを取り巻く環境問題は広範な学問分野にまたがる複合的側面を持っており、その解明と解決には科学や技術の力が必要不可欠です。環境省では、政策の立案や実施にあたって、工学・理学はもとより、社会学や政治学等の人文分野も含め、科学的知見をフルに活用しており、その実際を政策に即して紹介します。環境を保全し、成長を続ける、持続的な発展のあり方について、皆さんと一緒に考えたいと思います。



土居 健太郎 先生

1990年、北海道大学工学部大学院修了後、旧厚生省に入省され、以降、廃棄物の処理基準の設定・運用、容器包装リサイクル法や自動車リサイクル法などのリサイクル制度の構築、環境影響評価に関する審査、クールビズなど温暖化防止を推進する国民運動を担当されました。また、その間、国土交通省運輸局への出向も経験されました。その後、騒音・悪臭対策を担当する大気生活環境室長を経て、現職に就かれ、温室効果ガス排出削減目標の設定や温暖化対策計画の策定、再生可能エネルギーや省エネルギーの普及などを追求する日々を送ってられます。